



令和8年度 上水道事業 藪地区舗装本復旧工事

金抜設計書

工事番号 2026046800

---

工事名 令和8年度 上水道事業 藪地区舗装本復旧工事

---

施工場所 加東市藪地内

---

---

兵庫県 加東市



# 総括情報表

単価適用年月日	00-08.04.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休2日補正	今回 06 舗装 32 一般交通影響有り(2)-1 02 補正なし 1.00 01 計上する 08 完全週休2日(土日)	前回	

# 工事費内訳書

頁0-0002/0034

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
道路維持						
舗装工						
舗装打換え工						
舗装版切断						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	130		m			施工 第0 -0001号内訳表
舗装版破碎						
舗装版破碎(アスファルト舗装版) ; 障害->無し; 撤去厚->15cm以下	1,660		m2			施工 第0 -0002号内訳表
As切断汚泥運搬処分						

# 工事費内訳書

頁0-0003/0034

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通トラック運転	0.51	時間			
処分費 [ ; 投棄量0.21t ]	1	式			施工 第0 -0004号内訳表
殻運搬					
殻運搬 舗装版破碎 ; D I D区間無し L =6.5km以下	82	m3			施工 第0 -0005号内訳表
殻処分					
処分費 アスファルト殻 ; 投棄量 8 2 m3	1	式			施工 第0 -0006号内訳表
上層路盤					
不陸整正 補足材料->有り(11mm以上16mm未満) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40	1,610	m2			施工 第0 -0007号内訳表
不陸整正 補足材料->有り(11mm以上16mm未満) 再生クワッチャーソ RC-30, RC-40	53	m2			施工 第0 -0008号内訳表

# 工事費内訳書

頁0-0004/0034

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層						
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度キヤップアスコン[新](13) ; (2.35)	1,610		m2			施工 第0 -0009号内訳表
表層(歩道部) t = 30mm 細粒度アスコン[再](13) ; (2.15)	53		m2			施工 第0 -0010号内訳表
薄層カー舗装工						
薄層カー舗装						
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-303	65		m2			施工 第0 -0011号内訳表
区画線工						
区画線工						
溶融式区画線						

# 工事費内訳書

頁0-0005/0034

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
区画線設置 [溶融式] 実線 15cm t=1.5mm	480	m			施工 第0 -0012号内訳表
区画線設置 [溶融式] 実線 45cm t=1.5mm	19	m			施工 第0 -0015号内訳表
区画線設置 [溶融式] 破線 15cm t=1.5mm	35	m			施工 第0 -0018号内訳表
区画線設置 [溶融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	57	m			施工 第0 -0021号内訳表
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員					
交通誘導警備員 B	14	人日			施工 第0 -0024号内訳表
直接工事費計					

# 工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費						
工事原価計			式			
一般管理費等						
工事価格計			式			
消費税相当額						
総 計			式			



# 積算単価算出表

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0008/0034

1 m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R3	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R							
Z1	コンクリートカッタ(フプレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフプレート 径18インチ			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1	15cm以下				

# 積算単価算出表

舗装版破碎(アスファルト舗装版)

[規格 1]

[規格 2] 撤去厚->15cm以下

[ 摘要 ]

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0009/0034

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.45m3級			
K							
R1	土木一般世話役			土木一般世話役			
R2	運転手(特殊)			週休2日対象 運転手(特殊)			
R3	普通作業員			週休2日対象 普通作業員			
R				週休2日対象			
Z1	軽油 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別	=1	アスファルト舗装版				
B	障害等の有無	=1	無し				
C	騒音振動対策	=1	不要				
D	舗装版厚	=1	15cm以下				
F	積込作業の有無	=1	有り				







# 積算単価算出表

不陸整正

[規格 1] 補足材料->有り(11mm以上16mm未満)

[規格 2] 粒調砕石 M-25, M-30, M-40

[ 摘要 ]

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0013/0034

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータクレータ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(2014年)]			モータクレータ [土工用・排出ガス対策型(2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10~12t			
K3	タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 13~14t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			週休2日対象 普通作業員			
R3	特殊作業員			週休2日対象 特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	再生クラッシュラン RC-40			粒調砕石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 ハトロール給油			軽油			
Z							



# 積算単価算出表

不陸整正

[規格 1] 補足材料->有り (11mm以上16mm未満)

[規格 2] 再生クラッシャーラン RC-30, RC-40

[ 摘要 ]

施工 第0 -0008号内訳表

頁0-0015/0034

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータクレータ 幅3.1m [土工用・排出ガス対策型 (2014年)]			モータクレータ [土工用・排出ガス対策型 (2014年規制)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10～12 t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ (排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K3	タイヤローラ 質量13～14t  排出ガス対策型含			タイヤローラ (排出ガス対策型含) 13～14t			
K							
R1	運転手 (特殊)			運転手 (特殊)			
R2	普通作業員			週休2日対象 普通作業員			
R3	特殊作業員			週休2日対象 特殊作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	再生クラッシャーラン RC-40			再生切込砕石 (0～30mm・0～40mm)			
Z2	軽油 ハトロール給油			軽油			
Z							



# 積算単価算出表

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度キヤップアスコン[新](13)

[摘要]

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0017/0034

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシュ 舗装幅2.3～6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシュ(排出ガス対策型含) ホイール型 舗装幅2.3～6.0m			
K2	タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8～20t			
K3	ロードローラ 質量10～12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含) マカダム 10～12t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R2	運転手(特殊)			運転手(特殊) 週休2日対象			
R3	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			密粒度キヤップアスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 バトロール給油			軽油			



# 積算単価算出表

表層(歩道部)

[規格1] t = 30mm

[規格2] 細粒度アスコン[再](13)

[摘要]

施工 第0 -0010号内訳表

頁0-0019/0034

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅1.4～3.0m [クローラ型]			アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 1.4～3.0m			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量3～4t [搭乗コンパインド <sup>®</sup> 式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含) 搭乗式コンパインド <sup>®</sup> 型 3～4t			
K							
R1	普通作業員			普通作業員  週休2日対象			
R2	特殊作業員			特殊作業員  週休2日対象			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)  週休2日対象			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役  週休2日対象			
R							
Z1	細粒度アスコン TOP13 t=40mm			再生細粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 ハ <sup>®</sup> トロール給油			軽油			
Z							









# 施工単価表

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0024/0034

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		





# 施工単価表

施工 第0 -0017号内訳表

頁0-0027/0034

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=4	実線45cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		





# 施工単価表

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0030/0034

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=5	破線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		





# 施工単価表

施工 第0 -0023号内訳表

頁0-0033/0034

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			1
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			1
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			1
軽油		L			1
諸雑費		%			#01
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=13	矢印・記号・文字		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		





位置図 S=1/2500

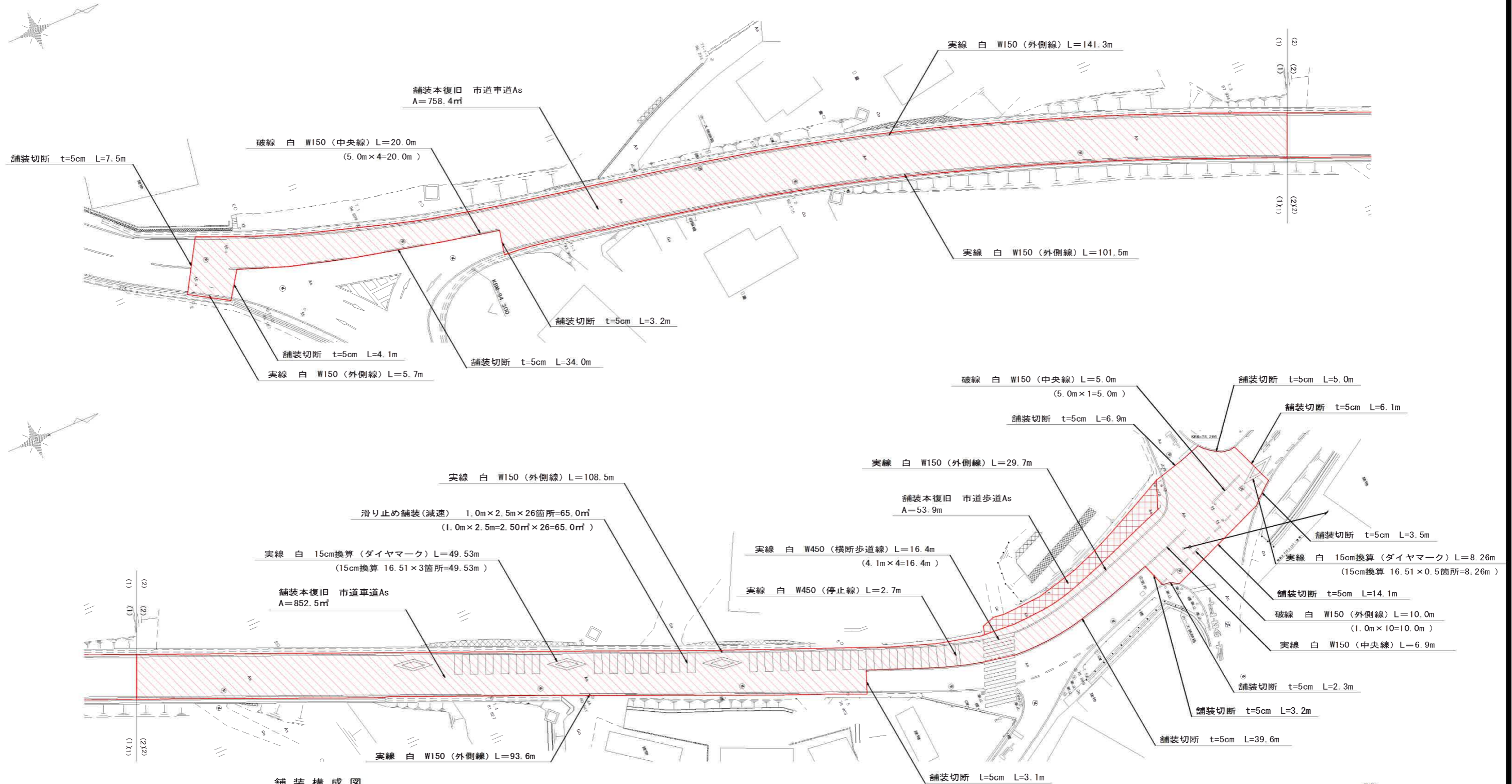


施工箇所

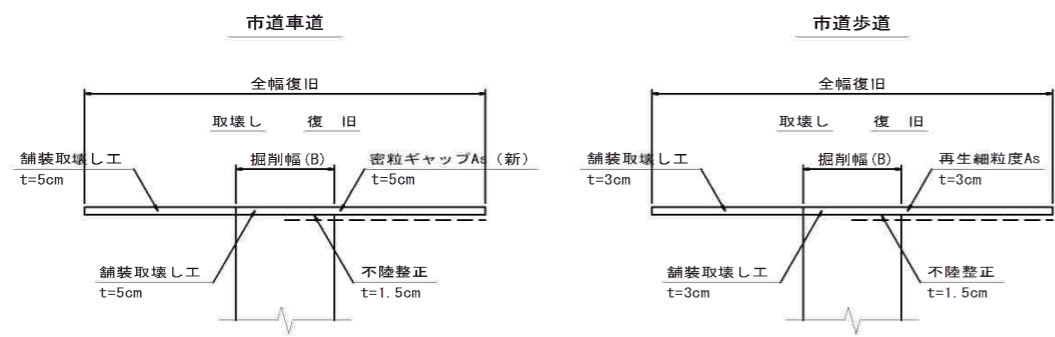
凡例
 施工範囲

令和8年度 上水道事業	
敷地区舗装本復旧工事	
加東市 敷地内	
位置図	1 葉全
縮尺 1/2500	2
加東市	

舗装本復旧図 S=1/250



舗装構成図



舗装切断延長表

種別	算式	延長
As t=5cm	$7.5 \times 4.1 + 34.0 \times 3.2 + 3.1 + 39.6 + 3.2 \times 2.3 + 14.1 + 3.5 + 6.1 + 5.0 + 6.9$	132.6m

舗装本復旧面積

種別	算式	延長
市道As t=5cm	$758.4 + 852.5$	1610.9m <sup>2</sup>
市道歩道As t=3cm	53.9	53.9m <sup>2</sup>
滑り止め舗装	65.0	65.0m <sup>2</sup>

区画線工

種別	算式	延長
実線(白) 15cm	$5.7 + 141.3 + 101.5 + 108.5 + 29.7 + 93.6 + 6.9$	487.2m
実線(白) 45cm	$16.4 + 2.7$	19.1m
破線(白) 15cm	$20.0 + 5.0 + 10.0$	35.0m
ダイヤモンド(白) 15cm換算	$49.53 + 8.26$	57.79m



# 特記仕様書

工事名 令和8年度 上水道事業 藪地区舗装本復旧工事  
工事場所 加東市藪地内  
工期 契約締結日の翌日から令和8年10月9日まで

第1条 本工事の施工に当たっては、「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、「土木請負工事必携」、「土木工事施工管理基準」、「小型構造物標準図集」（全て兵庫県土木部）によるものとする。

第2条 週休2日制度については、次のとおりとする。

- 1 本工事は原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板に明記すること。（受注者は契約後、週休2日を反映した施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
- 2 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は1ヶ月あたり2日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
- 3 毎月、監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。
- 4 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
- 5 毎月、監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
- 6 現場稼働中の工期〔工事着手前（現場測量等）、年末年始休暇6日間、夏期休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）の達成状況（平日振替日を含む）の確認ため受注者は「工事履行報告書」を提出すること。
- 7 労務費等の補正については当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金を減額変更する。また、月単位の週休2日に満たないものは完全週休2日の補正係数を除し請負代金を減額変更する。

- 8 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任のものである場合、他の現場に従事しないこと。
- 9 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上変更することができる。ただし工事着手後の変更は認めない。
- 10 下請け企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。
- 11 受注者は週休2日制度対象工事であることを工事看板に明記すること。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し小数点以下を四捨五入する。

〈労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正〉

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
機械経費（賃料）	-	-
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第3条 本工事に対する特記事項は、次のとおりとする。

1 工事用地区域外への立入り

請負者は、工事用地以外の区域へ立入りする場合は、必ず所有者の承諾を得ること。

2 関係機関との調整

工事着手前に、地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事計画、方法等の説明を行い、施工に当たってはトラブルの発生がないよう留意すること。特に田植え、稲刈りの時期の作業は、作業工程に配慮すること。また、施工に先立ち、地下埋設物（上下水道、ガス、NTT、電気、農水等）を調査し、必要に応じて関係機関と立会いを行うこと。

3 道路付属物並びに占有物件の処置

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合は、その処置についてあらかじめ

め監督員と協議すること。

#### 4 再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
A s 殻	大林道路（株） 東条アスファルト混合所	加東市天神 1228-39 外 20 筆

※上記は、積算上の条件明示であり、再資源化施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合でも、設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項はこの限りでない。

#### 5 解体工事に係る建設資材廃棄物引渡完了報告について

請負者は、建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡し完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成15年3月17日兵庫県条例第23号）第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。

#### 6 舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理

##### (1) 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

工法	濁水が生じる工法（湿式）	濁水が生じない工法 （空冷式 等）
区分		
排出形態	濁水 ※1	粉体
産業廃棄物の 分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥+廃アルカリ混合物」（※1 乾燥させた場合も同様）	「がれき類」

##### (2) 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法（湿式）を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記①～③のとおりとする。

##### ① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

<収集方法（例）>

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械（バキューム式）による収集
- ・工業用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集

等

## ② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

## ③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH2.5以上の場合には「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

## (3) 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法（空冷式等）を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

## (4) 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下の通り計上している。①濁水量は実施数量（マニフェストで確認）に応じて設計変更を行う。

① 濁水量 0.21t

②運搬費 普通トラック（2 t）運搬

③処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」	(株) タケベ	20.0km	兵庫県西脇市上比延町1244-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を順守すること	監督員の指示による

上表は、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

## 6 交通誘導員の配置

本工事には、交通誘導員B 14名を計上しているが、道路管理者及び所轄警察との打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、監督員と協議を行い、その結果により設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

## 7 その他

施工範囲の変更に伴う数量の異同は、現地調査後に作成した展開図を基に監督員と協議を行い、その結果により設計変更の対象とする。また、不陸整正に伴う補足材、クラック対策等も同様とする。

なお、本仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。

工事看板は下図を標準とする。

